

平成22年第1回定例会
健康福祉病院常任委員会

説明資料

【議案補充説明資料】

◇ 議案なし

【所管事項説明資料】

	頁数
1. 三重県立志摩病院指定管理者募集要項について 【別冊】三重県立志摩病院指定管理者募集要項	1
2. 当面の運営方針に基づく平成22年度マネジメントシートについて	2
3. 平成21年度病院事業決算の概要について	14

平成22年6月23日

病院事業庁

【所管事項説明】

1. 三重県立志摩病院指定管理者募集要項について

1 募集要項

(1) 内容

- ・別添「三重県立志摩病院指定管理者募集要項」のとおり

(2) 全員協議会（6月7日）以降の主な変更点

- ・志摩病院指定管理者選定委員会において決定された「審査基準及び配点」を記載（募集要項P16～17）

2 募集要項の策定と実施に係るスケジュール

- | | | |
|-----------|--|--|
| 5月10日 | 全員協議会 | 「県立病院改革に関する基本方針」「志摩病院指定管理条件（骨子案）」を知事から説明 |
| 6月3日 | 第1回選定委員会 | 諮問（指定管理者の選定について、意見を求める）
志摩病院の概要等の説明 |
| 7日 | 全員協議会 | 「募集要項（案）」の説明 |
| 9日 | 志摩市への「募集要項（案）」の説明 | |
| 16日 | 第2回選定委員会 | 「募集要項（案）」の説明
審査基準・配点の審議 |
| 17日 | 志摩市議会への「募集要項（案）」の説明 | |
| 21日 | 健康福祉病院常任委員会 | 選定委員会の状況報告 |
| 23日 | 健康福祉病院常任委員会 | |
| 7月1日～21日 | 「募集要項」の配布 | |
| 23日 | 現地説明会（志摩病院） | |
| 8月18日～31日 | 申請受付 | |
| 9月～10月 | 選定委員会の開催 | |
| 10月 | 健康福祉病院常任委員会 | 選定委員会の状況報告 |
| 10月～11月 | 選定委員会の答申 | |
| 11月 | 知事から病院事業庁長への審査結果の通知
指定管理候補者の選定
指定議案提出（11月会議） | |
| 12月～1月 | 指定管理者の指定 | |
| 3月 | 基本協定の締結 | |

【所管事項説明】

2. 当面の運営方針に基づく平成22年度マネジメントシートについて

「当面の運営方針」の概要

(1) 病院事業庁

- ① 医師・看護師不足のうち、医師については、臨床研修医の確保等成果が見られるものの、地域別、診療科別の偏在は解消されておらず、県立病院の中では特に志摩病院の医師不足が深刻さを増しています。このため、研修環境等の改善に関する対策を講じ、勤務医にとって働きがいのある職場環境づくりを進めます。また、看護師については、病院事業庁独自の看護師修学資金制度の創設や新人看護師の技術支援等に取り組んできましたが、総合医療センターや志摩病院において稼働病床数を制限せざるを得ない状況が続いています。このため、看護師修学資金制度の見直しを図るとともに、看護師の確保定着に関する取組を積極的に行います。
- ② 新型インフルエンザ（H1N1）のさらなる流行に対応するため、引き続き、患者の受け入れ等には的確に対応していきます。また、新型インフルエンザ対策については、強毒型の場合も同様に、県庁全体で緊急的な取組を行いますが、県立病院においても発生時に的確に対応するため、備蓄及び災害対策も含めた訓練を行い、対応強化を図ります。
- ③ 資金残高が減少し、内部留保資金が枯渇する可能性があることから、不良債務の発生を回避するため、一般会計からの長期借入金の受け入れ等による資金援助を検討する必要がありますが、資金確保は収支改善に努めるのが基本であることから、可能な限り病院の役割・機能の発揮を図るとともに、診療報酬改定に対応した取組を行います。
- ④ 「県立病院改革に関する基本方針」に基づき、今後も県民に良質な医療を継続して提供できるよう改革を推進していきます。

(2) 総合医療センター

- ① 引き続き、高度医療の提供や救命救急センター、地域周産期母子医療センター、地域がん診療連携拠点病院などの政策的な役割・機能の発揮に努めるとともに、臨床研修医の育成や認定看護師の養成等の人材育成について、積極的に取り組みます。また、紹介患者の受け入れ等や県民、医療機関を対象にした研究会・講演会の実施、患者の利便性・サービスの質の向上のための地域連携室の移設整備を図るとともに、最先端のCTなど高度医療機器を更新することにより、地域医療機関との連携を強化して、紹介率向上を図り、地域医療支援病院の指定承認の取得に向けた体制整備を行います。
- ② 各部門間の連携を円滑に進め、7対1看護基準体制を維持しながら病床稼働率の向上に努めるなど、適正な病床管理を行っていくとともに、看護師数の充足状況に応じて、現在の稼働病床数の増床を検討・実施していき

【所管事項説明】

ます。また、新人看護師の卒後臨床研修システムの構築や働きやすい職場環境の整備により、看護師の確保・定着に努めます。

(3) こころの医療センター

- ① 引き続き精神科救急・急性期医療の充実を図るため、機能充実の取組、措置鑑定対応や夜間・休日の精神科救急患者の受け入れに努めます。また、自殺対策や産業精神保健の分野においてもニーズの高まりから、行政や関係医療機関とネットワークを立ち上げ、事業推進を図っていきます。
- ② 精神科医療においては、一般診療科と比較してマンパワーに依る部分が多いことから、人材の確保・育成が重要であり、特に精神保健指定医については、施設基準上、診療報酬上ともに重要なことから引き続き確保と育成に努めるとともに、看護の専門性の向上を図るため、専門・認定看護師の確保と育成に努めていきます。

(4) 一志病院

- ① 過疎化、高齢化の進む地域において必要とされる総合的な診療（家庭医療）を提供するため、幅広い臨床能力を有する常勤医師の確保、定着を図り、内科外来患者数の増加に努めます。また、地域において強い要望がある在宅での療養を支援するため、訪問診療・訪問看護の充実を図るとともに、地域ニーズに対応した医療サービスを提供することにより、紹介患者や検査紹介の積極的な受け入れ等の取組を進め、地域の診療所や福祉施設等との連携を強化します。
- ② 現在の診療体制を維持することで医業収益の確保を図るとともに、給与費、材料費の抑制に取り組みます。また、地域内の診療所や他病院からの紹介患者を積極的に受け入れることにより、入院患者数の増加（病床稼働率の向上）に努めます。

(5) 志摩病院

- ① 地域の救急医療を守るため、引き続き、医師をはじめ医療スタッフの確保に注力するとともに、地域の医師会、他の医療機関、消防機関や行政機関などにより一層の連携を図りながら、救急医療体制の維持に努めます。また、へき地医療拠点病院、災害拠点病院としての役割を果たします。
- ② 内科・循環器科医師の減少などに伴い、診療体制を縮小せざるを得ない状況となっていますが、地域の医療ニーズに対応できるよう、平均在院日数とのバランスがとれた病床管理をより一層推進し、病床稼働率の向上に努めます。また、不足している医師の確保対策を推進することにより経営の健全化を図ります。

平成22年度 病院事業庁長マネジメントシート

病院名	三重県病院事業庁				
ビジョン	良質な医療の安定的、継続的な提供をするとともに、医療面から地域の安全・安心を支援することにより、県民から信				
経営方針	地域医療に貢献し、県内の高度専門医療、救急医療、災害医療、医療人材育成等の役割・機能を果たすとともに、地				
区分	経営シナリオ	戦略目標	主な成果 (重要成功要因)	業績評価指標	
顧客の視点		信頼される県立病院の役割・機能の発揮 安全・安心な医療の提供 高度専門、救急医療の提供・確立 医療機関等との連携強化・先進的モデル的医療の取組 県医療水準向上のための人材育成	患者満足度の向上 医療事故の防止 救急医療の充実 高度専門医療の充実 地域医療支援機能の充実 地域における医療供給体制モデルの実践 研修医の受入 看護師等実習生の受入	患者満足度 医療過誤数 救急患者受入数 がん手術件数 紹介患者数 地域連携バス数(種類) 新臨床研修医受入人数 シニアレジデント受入人数 看護実習生等受入人数	
財務の視点		県立病院の健全経営	県立病院の健全経営 経常収支均衡 資金収支均衡 職員給与比率の適正化 病床稼働率の向上	経常収支比率 職員給与費対医業収益率 病床利用率	
内部プロセスの視点		医療スタッフが働きやすい魅力ある病院づくり 危機管理と改善・革新に向けたマネジメントシステムの確立・充実 県立病院改革の円滑な推進	医療スタッフが働きやすい魅力ある病院づくり 危機管理と改善・革新に向けたマネジメントシステムの確立・充実 県立病院改革の円滑な推進	県立病院の役割・機能の確立 人材の確保・定着 災害医療体制の構築 リスクマネジメントの確立実践 志摩病院の役割・機能の方向性の確立	新たな経営計画の策定 医師充足率 看護師充足率 災害時の医療支援訓練実施回数 医療安全委員会の開催回数 県民等に理解される指定管理の適切な手続(公募・選定)
学習と成長の視点		動機付けされ、能力アップした職員の育成 一人ひとりの職員力を伸ばす専門能力の向上 チーム力を最大にするコミュニケーションの向上 県立病院改革に関する対話の推進	動機付けされ、能力アップした職員の育成 一人ひとりの職員力を伸ばす専門能力の向上 チーム力を最大にするコミュニケーションの向上 県立病院改革に関する対話の推進	職員満足度の向上 専門能力の向上(スキルアップ) 改善活動の定着 県立病院改革に対する理解度の向上	職員アンケートの「満足度」の設問での肯定的回答割合 職員満足度の向上に向けた取り組みによる改善件数(新規) 職員アンケート「プロとして成長しているか」の設問での「はい」の回答割合 新規資格取得者数(新規) TQMの活動件数 病院改革に伴う職員説明会の開催回数

頼・支持される県立病院づくりを行います。

域住民や関係機関への十分な説明と対話により理解と協力を得たうえで県立病院改革を円滑に推進します。

H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	H22年度に実践するアクションプラン
79.4%	81.6%	85.0%	・患者様アンケートの分析、改善活動
0件／年	0件／年	0件／年	・リスクマネジメントの確立実践 ・新型インフルエンザ対策の確立及び充実
23,368人 ／年	21,062人 ／年	19,735人 ／年	・広域的な救急医療の提供体制の確立 ・志摩地域における救急医療の提供体制の協議(志摩地域救急医療合同会議)
662件	649件	600件	・集学的がん治療情報の提供 ・地域へのがん情報の発信
12,625人 ／年	12,600人 ／年	11,972人 ／年	・病病、病診連携等地域連携の推進 ・医療機関との役割分担の推進
2種類	2種類	8種類	・地域連携バスの導入・促進
20人／年	31人／年	20人／年	・臨床研修医のための研修環境改善事業の実施 ・臨床研修医の受入体制の充実
16人	19人	18人	・シニアレジデントの受入体制の確立
8,560人 ／年	6,485人 ／年	7,800人 ／年	・看護学生を対象とした看護実習の充実 ・研修指導医、看護実習指導者等の育成
—	—	締結	・地域住民や関係機関に対する十分な説明
94.3%	95.2%	93.2%	・「当面の運営方針」の進捗管理 ・4病院の医業収支比率の改善
66.7%	66.9%	69.8%	・収支、資金、効果を十分加味した投資の実行 ・資金不足に対する対応
72.2%	69.5%	70.3%	・未収金の回収
—	—	策定	・新たな経営計画の策定(こころ・一志)
78.2%	76.2%	100.0%	・人材確保(複数養成機関への医師派遣要請、公募等) ・勤務医にとって魅力や働きがいのある職場環境づくり(医師の研修環境の充実等)
92.2%	93.7%	100.0%	・看護師確保定着事業の実施(修学資金制度の周知・活用、看護実習の充実等)
5回／年	4回／年	5回／年	・災害支援体制の確立と情報発信 ・図上訓練の実施
48回	47回	48回	・医療安全対策・感染対策の充実、マニュアルの適切な運用・不断の見直し・検討 ・個人情報管理等安全確保のための組織の充実
—	—	実施	・地域住民や関係機関、職員の理解と協力を得られる指定管理導入に向けた手続 ・総合医療センターの独立行政法人化の支援(支援業務委託、人事給与・財務会計システム構築等)
60.3%	—	60.0%	・常に笑顔で接し、ユーモアという言葉を意識して管理職が率先して職場の空気を和らげる ・職員アンケート結果による職場改善の検討、実施 ・常に意思疎通を図り、風通しのよい組織づくり
—	12件	7件	
12.5%	—	13.0%	・研究・研修環境の整備・充実、研究発表の推進(研修体系の整備、研修機会の確保と活かせる環境の整備、研究研修費の確保、専門分野での資格取得のための支援等)
—	21人	12人	
37件	35件	35件	・TQM活動の推進 ・病院事業庁TQM大会の開催
—	—	20回	・職員に対する十分な説明

平成22年度 総合センター院長マネジメントシート

病院名	総合医療センター			
ビジョン	県の医療施策をリードし、県民や医療機関から選ばれる病院づくりを行います。			
経営方針	救命救急、高度・特殊医療等を提供するとともに、地域との連携を図りながら、安全・安心で県民に信頼され、自立でき			
区分	経営シナリオ	目標	主な成果 (重要成功要因)	業績評価指標
顧客の視点	<p>・地域医療との連携 ・病院機能の充実</p> <p>・救命救急、高度医療等の提供 ・がん医療の提供 ・災害医療センター</p>	<p>心臓・脳血管疾患治療の向上</p> <p>救急・高度医療の提供</p> <p>がん治療の向上</p> <p>地域医療との連携</p> <p>県民の評価</p>	<p>冠血管治療数</p> <p>脳血管治療</p> <p>救急医療の実績</p> <p>がん治療への取り組み</p> <p>地域医療機関の信頼度</p> <p>アンケート評価</p>	<p>・PCI+冠動脈バイパス手術数</p> <p>・t-PA+脳血管手術数</p> <p>救命センター入院患者数</p> <p>がん手術件数</p> <p>紹介患者数</p> <p>当院推薦率(「推薦する」の回答率)</p>
財務の視点	<p>医療収支の改善</p>	<p>医療収支の改善</p>	<p>医療収支比率の改善</p>	<p>医療収支比率</p> <p>経常収支比率</p> <p>職員給与費対医療収益比率</p> <p>病棟稼働率</p>
内部プロセスの視点	<p>医療の標準化</p> <p>・地域連携の推進 ・病院情報の開示 ・県立病院の使命</p> <p>・高度医療体制の整備 ・救命救急センター機能の維持 ・医師、看護師等の育成</p>	<p>がん医療体制の整備</p> <p>県内医師不足への対応</p> <p>災害・救急医療のレベルアップ</p> <p>地域連携の推進</p> <p>病院情報の管理</p> <p>医療の標準化</p> <p>医療スタッフの充実</p>	<p>がん治療体制の充実</p> <p>卒後研修の充実 県内医師定着</p> <p>救急救命士・看護師の育成 DMAT研修</p> <p>医療連携体制の構築</p> <p>情報発信の充実</p> <p>病歴情報のデータベース化</p> <p>医療の標準化に向けたクリパスの推進</p> <p>看護師の定着</p>	<p>化学療法件数</p> <p>・初期研修医数 ・後期研修医数</p> <p>災害医療研修会</p> <p>地域連携クリニカルパス適応件数</p> <p>医療機関、県民を対象とした研究会・講演会の実施回数</p> <p>退院患者カルテ入庫率</p> <p>クリニカルパス利用率</p> <p>看護師定着率</p>
学習と成長の視点	<p>職員満足度の向上</p> <p>コミュニケーションの改善</p> <p>職員のスキルアップ</p>	<p>コミュニケーションの改善</p> <p>職員のスキルアップとモチベーション向上</p>	<p>職種間連携の実施</p> <p>人材育成の制度化</p>	<p>チーム医療推進プロジェクトチーム数</p> <p>新規資格取得者数</p>

る病院を目指します。

H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	H22年度に実施するアクションプラン
194	161	180	・手術実績の向上 ・治療成績の開示と高度医療の導入
181	133	180	・地域への情報発信力強化
5,842人	4,705人	5,500人	・三次救命救急体制の充実 ・地域周産期母子医療センターとしての高度な新生児医療への対応
516	531	500	・集学的がん治療情報の提供 ・がん患者相談窓口とセカンドオピニオンの実施 ・地域へのがん情報の発信
6,498人	5,731人	6,000人	・ニーズにあった地域連携の推進、紹介率の向上 (セミオープンベット、紹介予約外来制等) ・病診検査の実施
85.5%	85.0%	86.0%	・患者アンケート調査の実施と検証 ・接遇委員会の定期開催
90.1%	90.7%	90.4%	・DPC運用開始による診療体制の整備、在院日数の適正管理
95.4%	96.2%	96.3%	・後発医薬品の使用率向上 ・同種同効医薬品・材料使用の推進による材料費コストの削減
56.0%	56.4%	57.2%	・X線フィルムレス化の推進
(89.0%) 66.3%	(84.6%) 63.0%	(90.0%) 67.0%	・病床管理の一元化、効果的・効率的な病棟運営 ・稼働病床数の見直し等
4,740	4,585	4,800	・地域がん診療連携拠点病院指定更新に向けた体制整備 (がん診療評価委員会(がん診療委員会)の活用、化学療法室の運用、がん地域 連携クリニカルパスの整備、専門人材の育成等)
15人 8人	20人 9人	17人 13人	・医師の卒後教育と専門教育の推進 ・国内外への研修推進
2回	2回	2回	・講習会の開催(救急、感染症、災害医療等)と救急救命士実習生等の受入 ・災害医療班の整備
93件	159件	160件	・地域連携クリニカルパスの活用、推進 (大腿骨頸部骨折・脳卒中・がん等)
12回	12回	12回	・地域への情報発信力強化 (研究会・講演会の開催、担当医師の紹介、情報誌の発行等)
85.3%	91.2%	95.0%	・診断群分類別包括評価(DPC)病院としての取組推進 (カルテ入庫率アップと病名適正化)
33.1%	30.3%	35.0%	・DPC運用と連動したクリニカルパスの見直し ・DPC分析による診療行為・投入資源の検証及びクリニカルパスの改善・合理化
88.9%	91.7%	92.0%	・院内全体の取組による看護師定着への支援
2チーム	3チーム	3チーム	・チーム医療としての各部門横断的な取組(NST、ICT、緩和ケア) ・OJT(カンファレンス、看護技術向上)の充実 ・院長と職員との対話の推進(フリートーク等の実施)
6人	8人	6人	・認定看護師等専門スタッフの育成 ・研修医、学生等への実習指導の充実 ・TQM活動の推進

平成22年度 こころの医療センター院長マネジメントシート

病院名	こころの医療センター		
ビジョン	患者様とともにバリアフリーの社会をめざし、三重県のこころの医療をリードします。		
経営方針	精神科急性期医療の拠点病院として整備充実し、患者様や地域関係機関等からのニーズに対応すべく、精		
区分	経営シナリオ	目 標	主な成果 (重要成功要因)
顧客の 視点		<p>開かれた病院経営</p> <p>早期社会復帰の推進</p> <p>社会ニーズに応じる精神科専門医療の提供</p> <p>◎重点取組事項</p>	<p>ステークホルダーとの協働</p> <p>新患者の寛解率の向上</p> <p>精神科救急・急性期医療の推進</p> <p>社会復帰の推進</p> <p>地域医療機関との連携</p> <p>精神科早期介入の推進 県民ニーズの高い精神科医療の取組</p> <p>病院機能再編検討</p>
財務の 視点		<p>医業収支改善</p> <p>◎重点取組事項</p>	<p>医業収支比率の改善</p> <p>経営基盤の強化・定着</p>
内部プロセスの 視点		<p>◎重点取組事項</p> <p>急性期治療病院への体制整備</p> <p>開かれた病院運営への体制整備</p>	<p>病院運営・業務改善取組</p> <p>常時急性期患者受入体制の確立</p> <p>病院情報の公開</p>
学習と成長の 視点		<p>◎重点取組事項</p> <p>専門性の向上</p> <p>職員満足度・モチベーションの向上</p>	<p>人材育成の充実取組</p> <p>専門能力を身につけた職員の増加</p> <p>目標達成職員増</p>

神科専門医療を充実することによって、県民から愛され信頼される病院づくりを目指します。

業績評価指標	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	アクションプラン
運営モニターの見直し開催 こころしつとこ祭の見直し開催	2回 1回	2回 1回	2回 1回	・運営モニターの見直し検討・モニターの開催 ・こころしつとこ祭りの見直し検討・まつりの開催
新患者の寛解率	59%	61%	63%	・早期介入、急性期介入指針の活用
救急患者受入患者数	218人／ 年	209人 ／年	220人／ 年	・精神科救急研修会の開催 ・関係機関(警察署・消防署等)との連携
長期入院患者(5年超)の退院数 長期入院患者の多職種チーム医療	5件 5件	3件 4件	5件 10件	・地域移行支援事業(退院促進事業)の活用 ・リハビリパスの院内普及
紹介率 医療機関訪問件数	56.3% 319件	58.5% 300件	58% 300件	・地域医療機関への訪問 ・地域連携ミーティングの開催
早期介入対応件数 こころしつとこセミナー件数	— 37件	14件 25件	15件 25件	・早期介入拠点(YMSC/MIE・YAC)の広報充実、ケースマネジメント体制の確立 ・精神科医療取組の広報・啓発等
病院機能再編アクション	—	—	完了	・病院機能再編検討、社会復帰ビジョンの策定
医業収支比率 経常収支比率 職員給与費比率 病床稼働率	74.5% 101.9% 88.4% 82.2%	81.8% 109.0% 80.6% 83.8%	76.8% 104.1% 86.9% 83.8%	・診療報酬制度改定に対応した、精神科専門治療の充実 ・精神科特定入院料の算定 ・収支改善に向けた病院機能の検討 ・診療報酬検討委員会の開催 ・病棟機能の明確化と病棟間の連携
経営システムの見直し検討	—	—	完了	・経営会議の見直し、経営情報・経営指標の見直し充実
病院機能改善向上 Mシステムの見直し	—	—	完了	・病院機能評価基準に基づく改善取組 ・H22年度マネジメントシステムの見直し
措置鑑定対応件数	25件	52件	30件	・県障害福祉室・保健所等との連携
医療成果の見直し・公表	有	有	見直し/ 有	・臨床データの記録・蓄積・分析 ・医療成果指標の検討・充実
人材育成研修開催 人材育成システムの見直し	— 有	2回 有	4回 有	・人材育成研修の見直し、充実 ・新たな人材育成研修システムの構築
専門知識習得者数	49人	45人	47人	・研修参加支援を行う職場環境整備
学会発表件数	15件	13件	15件	・地域関係機関との協働学会運営企画 ・職員課題取組への支援

平成22年度 一志病院長マネジメントシート

病院名	一志病院		
ビジョン	家庭医療を核とした新しい地域医療モデルを確立し、安心して暮らせる地域づくりに貢献する。 地域医療を担う家庭医育成の中心的役割を担い、県内への医師定着に貢献する。		
経営方針	家庭医療を診療の中心とし、地域特性からくる幅広いニーズに応える。 常に、医療の質、医療のサービス向上に努め、患者満足度の高い医療を目指す。 当院を研修フィールドとする人材育成の体制を整備する。		
区分		目 標	主な成果 (重要成功要因)
顧客の 視点	<p>家庭医による全人的医療の提供</p> <p>幅広いニーズに応えた医療の提供</p> <p>顧客満足度の高い医療の実践</p> <p>県内への医師の定着</p> <p>家庭医等の育成(三重大学との協働)</p> <p>家庭医療の推進</p> <p>予防医療と継続的な医療提供体制</p> <p>予防 救急 外来 入院 在宅</p> <p>地域で医師を育てる</p> <p>経常収支の改善</p> <p>地域医療マインドの醸成</p> <p>モチベーションの向上</p>	幅広いニーズに応えた医療の提供	かかりつけ患者の増加
財務の 視点		顧客満足度の高い医療の実践	患者及び家族の満足度向上
内部 プロセス の視点		家庭医等の育成	初期研修医・後期研修の受け入れ
		経常収支の改善	経常収支比率の改善
学習と 成長の 視点	継続的な医療提供体制	病床利用率の向上	
	地域医療マインドの醸成	チーム学習の推進	
	モチベーションの向上	職員満足度向上	

業績評価指標	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	アクションプラン
内科(家庭医療)外来患者数	68人/日	80人/日	87人/日	・家庭医療科の診療内容について広報活動を行う。 ・患者様のニーズ調査を行う。
患者アンケート「親しい友人や家族が病気になる時、当院を推薦するか」項目の推薦率	77.0%	78.2%	80.0%	・入院外来ともに多職種によるカンファレンスの実施によりケアの改善を図る。 ・患者様の声をサービス改善に取り組む。 ・接遇研修を実施し職員の接遇能力の向上を図る。
初期研修医・後期研修の受け入れ実人数	3人	8人	5人	・指導医による人材育成体制を維持し、研修医、医学生を積極的に受け入れる。 ・病院全体で医師養成に取り組む体制をつくる。
経常収支比率	91.3%	98.7%	96.7%	・病床管理委員会を定期的に開催し、適正な病床管理に努める。 ・物品管理委員会、省エネ委員会等を開催し、材料費、経費等の削減を図る。 ・業務改善に取り組む。
職員給与費対医業収益比率	93.4%	92.7%	96.7%	
医業収支比率	61.4%	64.0%	62.3%	
入院患者数	30.7人/日	31.6人/日	33.0人/日	[受入可能患者数:一般病棟46床] ・地域診療所、福祉施設、大病院との連携強化を図り、紹介患者数の増加を図る。 ・在宅患者のバックアップ病棟としての機能。
診療所等からの紹介入院患者数	153人	178人	185人	・診療所等、他の急性期病院との連携を強化し、受け入れ可能な入院患者を積極的に受け入れる。
訪問診療・訪問看護件数	387件	436件	510件	・訪問診療・訪問看護を実施する。 ・関係医療機関、保健・福祉機関との連携を図る。
一次救急患者受入れ件数(救急車搬送患者を除く)	425件	631件	685件	・一次救急患者を積極的に受け入れる。
健康教室・糖尿病教室等参加者数(院外講演含む)	556人	533人	550人	・セクションを超えた協力体制により実施する。 ・健康教室を夜間にも開催し、勤労者等新たな参加者を確保する。 ・院外講演を行う機会を通して、地域住民との交流を図る。
予防医療受診件数(血液サラサラ検査・人間ドック・健康診断)	1,388件	1,673件	1650件	・関係セクションにおいて情報共有を図るとともに協力体制を整える。 ・住民健診、人間ドック等をPRするとともに積極的に受け入れる。
院内研修会・勉強会開催数	25回	26回	30回	・各種院内研修会を開催し、モチベーションの向上を図る。 ・病院全体で地域医療を学習する勉強会を企画する。
職員アンケート「自由な意見を言える雰囲気」「仕事のやりがいがあるか」項目	2.98 2.43	2.68 2.56	それぞれ 3.0以上	・育成支援のための評価制度、改善活動を推進し、職員個人のやりがいの向上を図る。 ・フリートーク、マネージメントシートを活用し、情報共有を図る。

平成22年度 志摩病院長マネジメントシート

病院名	志摩病院		
ビジョン	地域の住民や観光客に良質な医療を提供するとともに、へき地医療拠点病院、災害拠点病院機能を		
経営方針	地域の安全、安心確保のための政策医療の提供と未来の医療人の育成を図るとともに、地域の中核		
区分	経営シナリオ	目 標	主な成果 (重要成功要因)
顧客の 視点		安心できる地域医療体制の提供 政策医療の提供 地域に求められる医療の提供	地域救急医療体制の提供 地域医療機関との診療連携の強化 高度医療の提供 へき地診療所信頼度の向上 災害医療の提供 妊産婦のサポート体制の提供 精神科の充実
財務の 視点		経営の改善	病床稼働率の確保 経常収支比率の改善 人件費比率の改善
内部プロセスの 視点		人材の育成 地域と協働する病院づくり 地域医療連携体制の確立 医療安全の確立	医療スタッフ確保・育成体制の整備 住民参加イベント開催・中長期的人材育成 地域の要望に対応した出前講座開催 地域医療連携体制の推進 救急医療体制の維持・強化 医療事故等防止体制の確保
学習と成長の 視点		専門能力の向上 職員のモチベーション向上	研修(資格取得支援)体制の充実 経営意識の向上 職員間・職種間のコミュニケーション活性化

担い、県民の安全と安心に貢献します。

病院として、医師会、医療機関など関係機関と十分な連携をとりながら、安定的・継続的な地域医療の提供に努めます。

業績評価指標	H20 実績値	H21 実績値	H22 目標値	アクションプラン
救急患者数	9,026	5,410	4,800	・地域医師会、病院、行政機関等との連携による地域救急医療体制の確立 ・医師及び医療スタッフの確保
紹介患者数	4,467	5,102	4,200	・地域の医療機関との役割分担による医療体制の充実
逆紹介患者数	6,244	4,281	3,600	・地域の医療機関との役割分担による医療体制の充実 ・紹介元診療所等への情報提供等を行い逆紹介を推進
内視鏡検査延件数	2,833	2,085	2,000	・病診・病病連携による高度医療の効率的な提供 ・実績・効果の情報提供
代診医派遣率	100%	100%	100%	・へき地診療所からの派遣依頼の調整 (登録医の充実、診療所等との情報交換など)
災害対応訓練の実施	2	2	2	・消防署等関係機関との協働による災害訓練の実施 (災害医療チーム編成、図上訓練など)
助産師外来指導・相談件数	—	40.4件/ 月	40件/ 月	・地域のニーズに応える取組<地域の妊産婦が安心できる身近なサポート> (妊娠・分娩・育児に関する指導や相談、各医療機関との連携など)
こころの外来患者数	34.8人/ 日	33.9人/ 日	33人/ 日	・地域のニーズに応える取組<地域で唯一の精神科病床保有病院> (県内の精神科病院との連携強化、地元保健所等との連携強化など)
一般病床利用率	71.6%	60.0%	56.0%	・病床管理の徹底 ・DPC分析による適切な在院日数管理
精神病床利用率	94.7%	95.9%	97.0%	・病床管理手法の確立 (合併症患者の一般病床との転棟管理など)
経常収支比率	88.2%	84.4%	79.4%	・収益性の向上に向けた取組 (DPC運用に併せた外来部門の収益性の向上など) ・経費の効率的支出 (SPDによる材料費の削減など)
人件費比率	73.0%	78.2%	85.7%	・時間外勤務の縮減等、人件費の削減に向けた取組 ・収益性の向上に向けた取組
臨床研修医数	5	5	3	・魅力ある病院づくり (職場・居住環境の改善、研修プログラムの充実、大学等との連携など)
看護学生の実習受入数	1,775	1,371	1,400	・魅力ある病院づくり (職場・居住環境の改善、研修プログラムの充実、大学等との連携など)
メディカルサマースクールの開催	1	1	1	・地域住民に必要とされる病院づくり (住民参加のイベント実施、出前講座の開催)
eーナース出前講座等の実施	18	23	20	・地域の医療を伝える(医療の世界を目指すきっかけとなる)コンテンツの提供 ・地域住民に必要とされる病院づくり (住民参加のイベント実施、出前講座の開催)
志摩地域救急医療合同会議開催件数	3	5	5	・地域医師会、病院、行政機関等との連携による地域救急医療体制の確立 ・地域の医療機関との役割分担による医療体制の充実
救急外来委員会の開催	12	12	12	・各セクション参加による救急外来の充実に向けた検討 ・救急受け入れ体制の検証・検討 ・屋上ヘリポートの運用(救急医療・災害医療)
医療安全委員会の開催	12	12	12	・各セクション参加による医療安全の充実に向けた検討
専門資格新規取得者数	2	4	4	・研修会・講習会参加、資格取得支援(研究研修費の効率的配分) ・院内研修会等の開催
TQM活動参加サークル数	7	6	6	・各セクション及びセクションを跨いだTQM(小集団)活動の実施 ・院内の課題検討、職員提案等に対するワーキンググループの設置 ・対話(フリートーク)の推進

【所管事項説明】

3. 平成21年度病院事業決算の概要について

(1) - 1 収益的収支

(税抜きベース、金額:百万円、比率:%)

	H20年度	H21年度	H21-H20	H20対比率
病院事業収益	17,633	17,689	56	100.3
医業収益	13,744	13,714	▲ 31	99.8
入院収益	9,790	9,784	▲ 7	99.9
外来収益	3,640	3,615	▲ 25	99.3
その他医業収益	314	315	1	100.2
医業外収益	3,888	3,975	87	102.2
うち一般会計繰入金	3,720	3,744	24	100.7
特別利益	0	0	0	-
病院事業費用	18,977	18,706	▲ 270	98.6
医業費用	17,473	17,402	▲ 71	99.6
うち給与費	9,684	9,693	8	100.1
うち材料費	3,420	3,431	11	100.3
うち経費	2,846	2,817	▲ 29	99.0
うち減価償却費	1,422	1,382	▲ 40	97.2
医業外費用	1,233	1,169	▲ 63	94.9
うち借入利息	824	750	▲ 73	91.1
特別損失	271	135	▲ 136	49.8

経常損益	▲ 1,073	▲ 883	190	-
当年度純損益	▲ 1,344	▲ 1,018	326	-

経常損益では 8億8,300万円の赤字(前期比約1.9億円の赤字減)

純損益では 10億1,800万円の赤字(前期比約3.3億円の赤字減)

(1)-2 経常損益の病院別内訳

(百万円)

	H20年度	H21年度	H21-H20
総合医療センター	▲ 438	▲ 371	67
こころの医療センター	58	276	218
一志病院	▲ 73	▲ 11	62
志摩病院	▲ 621	▲ 778	▲ 157
経営室	0	0	0
合計	▲ 1,073	▲ 883	190

【所管事項説明】

(1) - 3 患者数動向

(単位:人)

	入院				外来			
	H20	H21	増減	比率	H20	H21	増減	比率
総合医療センター	107,846	102,564	▲ 5,282	95.1	151,368	141,164	▲ 10,204	93.3
こころの医療センター	120,019	122,468	2,449	102.0	53,037	56,551	3,514	106.6
一志病院	11,213	11,552	339	103.0	19,386	20,178	792	104.1
志摩病院	99,857	89,793	▲ 10,064	89.9	118,179	82,456	▲ 35,723	69.8
合計	338,935	326,377	▲ 12,558	96.3	341,970	300,349	▲ 41,621	87.8

(1) - 4 診療単価の状況

(単位:円、%)

	H20年度	H21年度	H21-H20	H20対比率
入院単価	28,886	29,976	1,090	103.8
外来単価	10,644	12,037	1,393	113.1

(2) 資本的収支

(金額:百万円、比率:%)

	H20年度	H21年度	H21-H20	H20対比率
資本的収入	1,959	3,125	1,166	159.5
企業債	1,143	2,125	982	185.9
国庫補助金	2	1	▲ 2	24.5
県費負担金	804	885	81	110.1
その他	10	114	104	1,141.5
資本的支出	2,603	3,605	1,002	138.5
病院増改築工事費	19	37	18	192.3
資産購入費	475	341	▲ 134	71.7
企業債償還金	1,978	3,199	1,221	161.7
有価証券購入費	101	0	▲ 101	-
長期貸付金	30	28	▲ 2	93.2
資本的収支	▲ 644	▲ 480	164	-